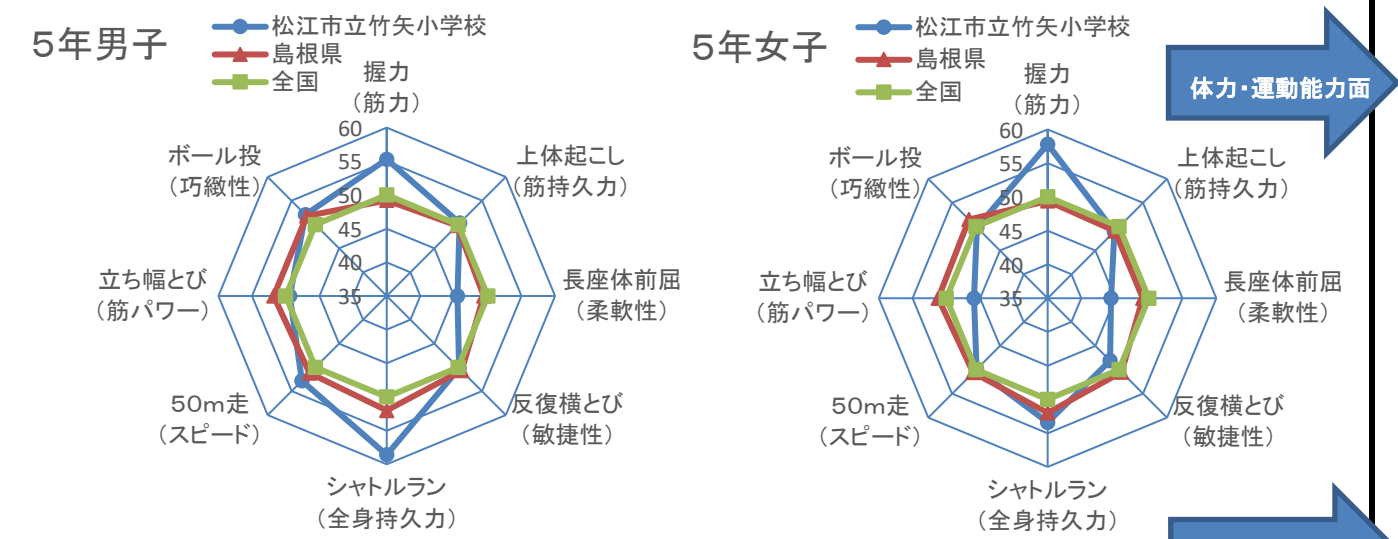
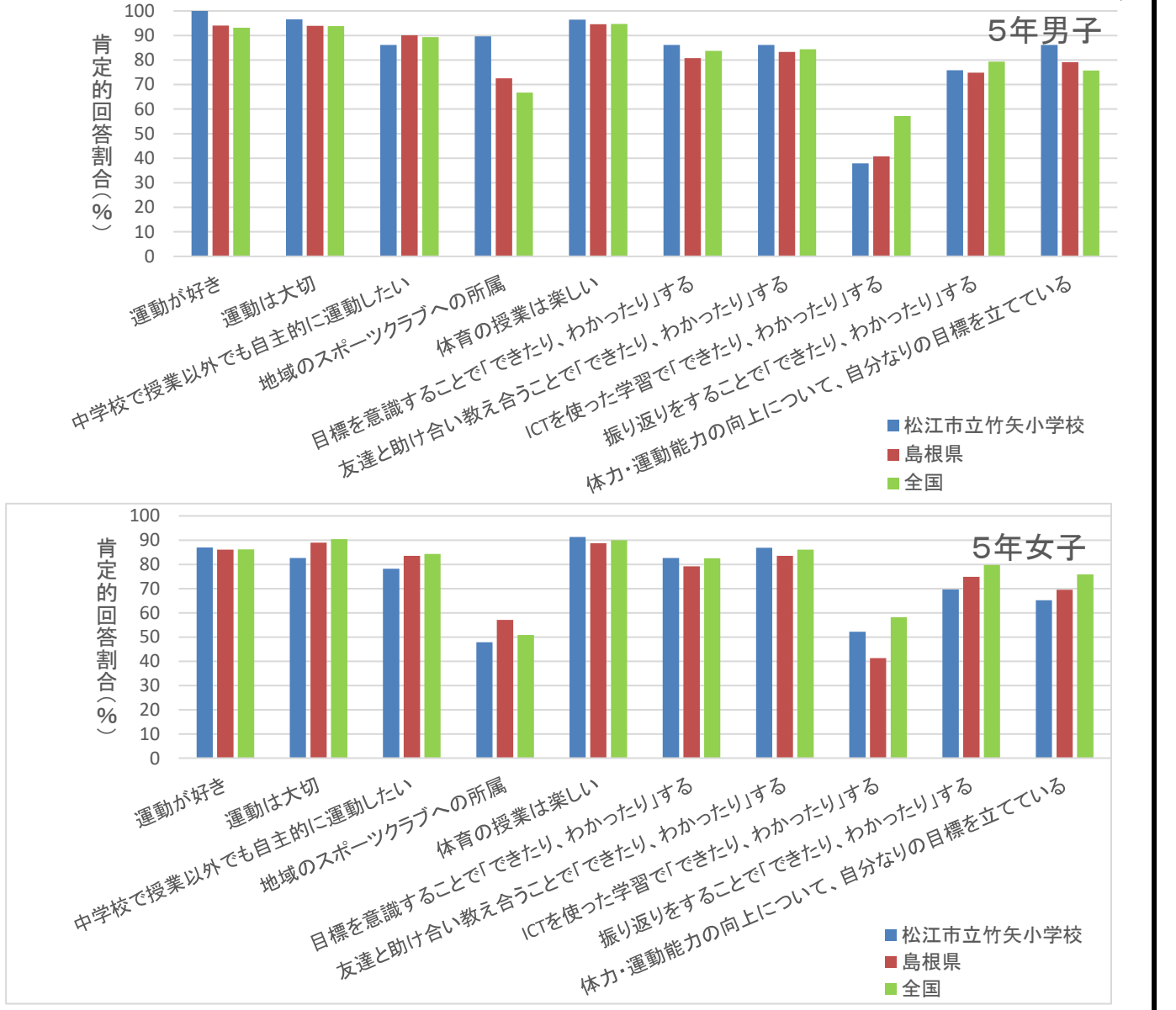


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	5.3	0.3	-4.5	0.2	8.6	2.8	-0.6	2.1
女子	7.8	-1.0	-5.6	-1.9	3.4	-0.1	-4.1	-0.2

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	6.8	2.8	-3.1	23.0	1.8	2.5	1.8	-19.3
女子	0.8	-7.8	-6.1	-3.1	1.3	0.1	0.8	-6.0

振り返りをする中で「できたり、わかったり」する
体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている

男子	-3.5	10.5
女子	-10.2	-10.7

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力運動能力向上に係る取り組み
- ・年度当初に体力推進計画をもとにした方針を共通理解できるようにする。
 - ・体育に関わる研修に体育部が積極的に参加し、学年、学級に広めて実践できるようにする。
- ② 体育・保健体育授業の工夫・改善
- ・柔軟性に課題があるため、体育授業の準備運動でストレッチ等を積極的に取り入れる。
 - ・指導内容を明確にし、めあてと振り返りをより意識できるようにする。
 - ・コツ見つけや動きの良さを伝え合う場を設定し、児童同士の話し合いを充実させる。
 - ・ICTを使用することで「わかった・できた」につながるように、効果的な活用方法を検討、実践していく。
 - ・運動能力向上のために購入した教具を積極的に活用する。
- ③ 体育・保健体育授業以外の取り組み
- ・「しまねっ子元気アップカーニバル」に申し込み、全校なわとび大会を実施する。
 - ・委員会を中心としたスポーツ大会等、運動の楽しさを伝える企画を実施する。
 - ・委員会を中心に正確な姿勢体操を全校に紹介する。生活時程の中で姿勢体操の時間を位置づけた取り組みを継続する。
 - ・健康三原則の大切さについて、チャレンジ週間と関連させながら、学年だよりや学級だより、保健だより等で保護者への啓発を図り、意識を高められるようにする。